

令和2年（2020年）2月20日

## EDGE-NEXT 人材育成プログラム・実践編での指導の成果 ～ 指導先企業、(株)サニックスが環境省の事業に採択 ～

### 【本件のポイント】

- 国際事業化研究センターのEDGE-NEXT 実践編（山形県ものづくりベンチャー創出支援事業）で、平成30年度から支援を続けている株式会社サニックスが資金調達を実現した。
- サニックス社が取り組むテーマは、EV商用車の普及過程で計画発電蓄電装置により発電機と電池の小型化を実現するもので、実現後の波及効果が大きい。
- EDGE-NEXT 実践編は、企業、大学研究室、個人を対象にして平成30年度(2018年度)から支援を開始。本年度は12チームを対象に支援を開始、現在6チームに対して指導を継続している。



山形大学 EDGE-NEXT 実践編での発表の様子

### 【概要】

国際事業化研究センターでは、山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラムを、学生、一般社会人を対象に平成29年度（2017年度）から実施しています。このプログラムでは、起業家精神育成を系統的に育成する基礎編の上に、企業等が設定した具体的なテーマの事業化に向けてきめ細かく指導する伴奏型の支援を行う実践編として、平成30年度(2018年度)から山形県ものづくりベンチャー創出支援事業の委託を受けて事業化支援を実施しています。

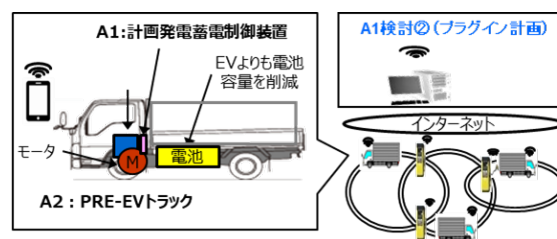
今回、平成30年度(2018年度)から指導を続けてきた株式会社サニックスが、環境省のCO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業に採択されて、2億円を超える資金調達を得て、事業化活動に着手するという大きな成果を得ました。走行に必要なエネルギーを計算、計画的に発電と蓄電ができるEV商用車向け装置の開発で、車載機器を小型化して、CO2排出量の劇的な削減、車両価格の低減といった、大きな波及効果が期待できる事業です。

このEDGE-NEXT 実践編プログラムは、最大2年間の支援期間を設けています。サニックス社向け支援は2年目に入りますが、その間の指導を通じて、山形大学と地元企業との事業化面での連携の在り方についての参考事例になるような成果報告を得ることができました。また、大きな波及効果が予想できる事業テーマでもあり、今後の産業振興への貢献にもつながると期待されます。

### 【株式会社サニックスの事例】

株式会社サニックスは、総合自動車サービス、車検点検整備、“はたらく車”への改造・ボディ制作・板金塗装等の事業を行っている、山形市に本社がある成長企業です。

乗用車の環境対応・電動化・自動運転の技術開発が進む中で、“はたらく車”にも対応が必要になると捉え、「PRE-EVによる運輸事業の低炭素化」を社内の重要プロジェクトに位置付けて、連携による事業化を社内方針に決められました。



実現を目指す最終的なイメージ

## 【山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム】

山形大学は、平成 29 年度(2017 年度)より早稲田大学を主幹機関とした EDGE-NEXT コンソーシアムに、東京理科大学、滋賀医科大学、多摩美術大学とともに参画して、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業」プログラムを始めました。独自のプログラムを開発して平成 30 年度 (2018 年度) から教育を開始しました。学生のみならず、企業で新事業の立ち上げを目指すイントレプレナー (社内起業家、企業内起業家) の育成を図り、企業の新事業化支援も行っています。3つのプログラムを用意しており、学生と企業が連携して取り組むことによる相乗効果も特長の一つです。

### ●地域連携起業家育成教育プログラム

地域課題をテーマに、行政・地域企業・学生が課題解決に向けたプロジェクトを立ち上げ、解決策をコミットし確実に地域に実装していきます。

### ●起業家育成教育プログラム (基礎編)

大学生、一般社会人を対象に、前期 8 回、後期 8 回を隔週土曜日に開催しています。20 名を超す業界で著名な外部講師を招き、講義・講演、グループディスカッション、チーム発表を通し、起業家精神 (マインドセット) と起業に必要な知識 (スキルセット) を自分の事業イメージを育てながら習得させていきます。

### ●起業家育成教育プログラム (実践編)

平成 30 年度 (2018 年度) から山形大学が「山形県ものづくりベンチャー支援事業」の委託を受けて、EDGE-NEXT 人材育成プログラムの実践編と位置付けて実施しています。企業、研究者、学生が持つ具体的なシーズ技術や事業アイデアを事業化するために、1 年目はハンズオンで顧客価値策定及びビジネスプラン策定を行い、2 年目は資金調達を支援して、事業化、事業拡大を目指します。

## 【起業家育成教育プログラム (実践編) の成果】

サニックス社は 2018 年度 EDGE-NEXT 実践編にて、初年度に「顧客価値策定及びビジネスプラン策定」の支援を受けて、事業計画書 (エグゼクティブサマリー) まで完成し、今年度、2 年目の支援の間に資金調達を達成されました。

本環境省事業では総額約 3 億円の事業規模に対して、2 億 1 0 9 0 万円の資金調達になります。



環境省事業採択の元になった、EDGE-NEXT 実践編にて作成したエグゼクティブサマリー (2018 年 10 月)

(参考) サニックス社が採択された環境省の事業：

2019 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 (<https://www.env.go.jp/press/107299.html>)

CO2 排出削減技術の高効率化や低コスト化等のための技術的な課題を克服し、優れた CO2 排出削減技術を生み出し、社会に実装していくことで、将来的な地球温暖化対策の強化につなげるのが極めて重要です。一方、民間に委ねるだけでは必要な CO2 排出削減技術の開発が必ずしも十分に進まないことから、本事業により、将来的な地球温暖化対策の強化につながる CO2 排出削減効果の優れた技術の開発・実証を主導し、CO2 排出量の大幅な削減及び地域循環共生圏の構築を目指します。(ウェブサイトから引用)

お問い合わせ  
山形大学 国際事業化研究センター 安房、服部  
TEL :0238-26-3025  
Email : yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp